

大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策について

2019（平成31）年4月22日

大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策会議

目 次

1	概要		
	(1) はじめに	1
	(2) 大分スポーツ公園の概要	2
	(3) 交通渋滞発生の状況	3
2	渋滞対策会議の設置及び検討内容		
	(1) 主旨	5
	(2) 協議経過	5
	(3) 検討の視点	6
	(4) 課題及び留意事項	7
3	渋滞対策会議の今後の取扱い		
	(1) イベント主催者に対する相談窓口の設置	13
	(2) 相談・協議のスキーム及び役割分担	13
4	学識経験者の意見	16
5	おわりに	17
参考資料			
	(1) 渋滞対策会議会則及び構成機関	19
	(2) 渋滞状況図 (H30.11.16)	21
	(3) 大分スポーツ公園位置図	25
	(4) 大分スポーツ公園周辺マップ	26
	(5) 「大分スポーツ公園パーキングナビ」の概要	27

1 概要

(1) はじめに

平成30年11月16日、大分スポーツ公園総合競技場におけるサッカー日本代表戦の開催に伴い、大分市内で大規模な渋滞が発生しました。これは、同公園において、過去10年間で2万人以上のイベントを15回、3万人以上のイベントを3回開催した実績があるなかで例を見ない事案でした。

今後、同公園において、民間主催のイベントに伴い同様の事態を招くことのないよう、課題の確認や今後の留意事項等を整理する必要があることから、同年12月18日、関係する20の機関により構成される「大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策会議」（会長：大分県土木建築部審議監（技術企画担当）、事務局：大分県土木建築部公園・生活排水課）を設立し、議論を進めることとしました。

イベント主催者が交通輸送計画を立案する段階で、例えばシャトルバスや駐車場の運用をイベントの規模に応じて適切に設定し、交通の需要をしっかりとマネジメントすることは特に重要であるほか、それを実現するための事前の広報を充実させることも大切であり、さらに当日の交通誘導等をいかに円滑に行っていくか、といった点も重要な要素になります。こうした点について、過去の事例も踏まえながら、関係機関相互の課題認識共有と連携強化を図りつつ、主催者が講ずべき対策の整理を行ってきたところです。

今般、総合競技場に隣接する大分県立武道スポーツセンターの供用開始を前に、これまでの議論を踏まえ、基本的事項についてとりまとめを行いました。

今後、スムーズなイベント運営に向け、これらの成果も活用しつつ、各機関が連携しながら、それぞれの立場で民間のイベント主催者への情報提供、指導助言等に繋げていくよう考えています。

なお、当会議については、今後、同公園においてイベントの実施を検討する主催者の相談窓口としてその組織を存置します。

(2) 大分スポーツ公園の概要

大分スポーツ公園は、別府湾の海岸部から南へ約10kmほどの大分市のほぼ中央に位置し、標高40mから130mの丘陵地にあります。広さは、県営の都市公園である高尾山自然公園区域を含めて253ヘクタールです。当公園建設地は、市街地に隣接する緑豊かな自然環境に恵まれた所にあります。

このため、公園整備の基本方針として、地形や植生等の自然条件を考慮し、生態系の保全に配慮した公園整備をしており、広大な園内には保全エリアを設け、自然をそのまま残し、動植物の生息する場所と、人が利用する空間とに分けるなど、様々な配慮をした公園づくりをしています。

○ 所在地

- ・ 大分県大分市大字横尾ほか

○ 面積

- ・ 全体253ha（スポーツ公園エリア193ha、高尾山自然公園エリア60ha）

○ 主要施設

- ・ 総合競技場（観客席数約4万席、可動式屋根）、武道スポーツセンター、サブ競技場、サッカー・ラグビー場、投てき場、軟式野球場、テニスコート、多目的運動広場、大芝生広場等
- ・ 駐車場（約5千台）

○ 建設経過

- ・ 平成6年事業着手
- ・ 平成14年（FIFAワールドカップ）まで：総合競技場ほか整備
- ・ 平成20年（国民体育大会）まで：サブ競技場ほか整備
- ・ 平成31年まで：武道スポーツセンター整備

○ 主なイベント

- ・ 平成14(2002)年 FIFAワールドカップ
- ・ 平成20(2008)年 国民体育大会、全国障がい者スポーツ大会
- ・ 平成25(2013)年 全国高校総体北部九州総体
- ・ 平成31(2019)年 ラグビーワールドカップ（5試合予定）
- ・ その他 サッカー日本代表戦（5回）
サッカーJリーグ大分トリニータホームスタジアム
音楽イベント（コンサート） など

(3) 交通渋滞発生状況

① イベントの概要

- ・ イベント : キリンチャレンジカップ2018日本代表対ベネズエラ代表
- ・ 日 時 : 平成30年11月16日(金) 19:30キックオフ
- ・ 場 所 : 大分スポーツ公園総合競技場
- ・ 公式入場者数 : 33,364名

② 渋滞発生状況

巻末の参考資料に示す渋滞状況図(大分県警提供資料)のとおり、当日はまず、15時の時点で県道大分臼杵線加納交差点を先頭に0.7kmの渋滞が発生し、降雨が始まった16時には国道197号バイパスの大分スポーツ公園西IC入口交差点を先頭に1kmの渋滞が確認されています。

その後、通勤時間帯となる17時30分には東九州自動車道で4.5km、県道松岡日岡線で1km、市道片島松岡線で4.8kmなど、同公園に繋がる複数の道路で渋滞が顕在化しています。また、同時刻には、県道大分臼杵線の北下郡ガード西交差点を先頭に市内中心部に向かう1.6kmの渋滞も発生しています。

さらに、試合開始1時間前の18時30分には、大分スポーツ公園西IC入口交差点を先頭に、東九州自動車道と国道197号バイパスを合わせて最大渋滞長となる10.4kmの渋滞が発生した後、試合開始の19時30分以降も渋滞が継続するなど、自動車専用道路はもとより、多くの一般道路で深刻な交通渋滞が発生しました。

時系列の最大渋滞長については「表1 時系列の最大渋滞長」のとおりです。

渋滞発生の原因については、「2 渋滞対策会議の設置及び検討内容」の「(4) 課題及び留意事項」において、[顕在化した課題]として整理します。

表1 時系列の最大渋滞長

時間	路線名	渋滞の起点	渋滞長
15:00	県道大分臼杵線	加納交差点	0.7 km
16:00	国道197号バイパス	公園西IC入口交差点	1.0 km
17:00	東九州自動車道	米良IC	2.6 km
	国道197号バイパス	公園西IC入口交差点	1.0 km
	小計		3.6 km
18:00	東九州自動車道	米良IC	6.2 km
	国道197号バイパス	公園西IC入口交差点	1.0 km
	小計		7.2 km
19:00	東九州自動車道	米良IC	9.4 km
	国道197号バイパス	公園西IC入口交差点	1.0 km
	小計		10.4 km
20:00	東九州自動車道	米良IC	7.7 km
	国道197号バイパス	公園西IC入口交差点	1.0 km
	小計		8.7 km
21:00	東九州自動車道	米良IC	5.8 km
	国道197号バイパス	公園西IC入口交差点	1.0 km
	小計		6.8 km
22:00	県道松岡日岡線	大銀ドーム東交差点	0.7 km
23:00	市道スポーツ公園中央線	公園西IC入口交差点	1.2 km

2 渋滞対策会議の設置及び検討内容

(1) 主旨

平成30年11月16日、大分スポーツ公園総合競技場におけるサッカー日本代表戦の開催に伴い、大分市内で大規模な渋滞が発生しました。

過去に例を見ない今般の事例を受け、今後、同公園において民間主催のイベント実施に伴い同様の事態を招くことのないよう、課題を確認し今後の留意事項等について検討・整理を行うため、「大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策会議」を設立しました。

本会議は、交通管理者や道路管理者、イベント関連部署、同公園内の各施設管理者、指定管理者、利用団体等、関係する20の機関により構成されており、会長は大分県土木建築部審議監（技術企画担当）、事務局は大分県土木建築部公園・生活排水課が担当しています（会則及び構成機関は巻末参考資料参照）。

(2) 協議経過

本会議の協議経過は以下のとおりです。

- 第1回会議
 - ・ 平成30年12月18日
 - ・ 交通渋滞の状況及び検討事項について議論
- 第2回会議
 - ・ 平成31年 2月 8日
 - ・ 課題の整理及び今後留意すべき点について議論
- 第3回会議
 - ・ 平成31年 3月27日
 - ・ 今後の協議スキーム等を含めた議論
 - ・ 関係機関への追加ヒアリングを踏まえた議論
 - ・ 学識経験者の意見聴取に関する方針協議
- 第4回会議
 - ・ 平成31年 4月22日
 - ・ これまでの議論を踏まえたとりまとめ内容の確認・決定

(3) 検討の視点

今般の交通渋滞発生に対し、第1回会議において、渋滞状況及びイベントの運営状況等について概括の議論を行った結果、今後、民間主催の大規模イベント※1)に伴う渋滞の発生を抑制するため、主として以下の項目について確認及び検討を進めることとしました。

- ① イベント実施に先立つ事前の日程調整のあり方について
- ② 自家用車の駐車場運用及び交通誘導のあり方について
- ③ シャトルバス等の運用のあり方について
- ④ 広報のあり方について
- ⑤ 天候不良や事故等発生時の対応、交通規制等について

※1) 「大規模イベント」について

過去の事例から、大分スポーツ公園では、集客数が概ね1.5万人程度以上となる場合、渋滞対策への十分な配慮が特に必要となることから、本稿における「大規模イベント」とは、同公園内において、同一日に開催されるイベントによる集客数の総和が概ね1.5万人程度以上となるイベントをいう。

なお、1.5万人程度以下のイベントについても、本稿での検討成果を踏まえ、必要に応じ主催者へ渋滞対策の指導助言を実施する。

(4) 課題及び留意事項

① イベント実施に先立つ事前の日程調整のあり方について

[顕在化した課題]

- 1) 今回のイベントが金曜日の通勤・通学時間帯で設定されており、大分市内で他のイベントも実施されていたため、市内の交通需要が集中した。

[今後の留意事項]

- 1) イベント日程はそれぞれの主催者により決定されることから、複数のイベントの日程調整を完全に行うことは困難である。
- 2) 現実的な対応としては、イベント実施の初期検討段階において、主催者から相談を受けた指定管理者（株大宣）は施設管理者（大分県公園・生活排水課）と協議のうえ、守秘性を堅持しつつ本会議構成機関相互の情報共有を図ることにより、複数のイベント情報の把握に努めるとともに、比較的混雑が想定される曜日・時間帯について、指定管理者は主催者に対し可能な限り事前の日程調整を提案・協議していく。
- 3) 本会議構成機関は、相互の連携強化により、当該調整が円滑に行われるよう努める。
- 4) なお、平成31年度に新たに供用開始する武道スポーツセンターについても、総合競技場とのイベント日程重複に伴う駐車場利用の輻輳や渋滞等が懸念されることから、イベント実施の初期検討段階において、主催者から相談を受けた指定管理者は施設管理者（大分県教育庁）と協議のうえ、守秘性を堅持しつつ本会議構成機関相互の情報共有を図ることにより、複数のイベント情報の把握に努めるとともに、比較的混雑が想定される曜日・時間帯について、指定管理者は主催者に対し可能な限り事前の日程調整を提案・協議する。

ポイント

- 主催者からイベント開催の相談を受けた指定管理者は、本会議構成機関と情報共有しながら、複数イベントのバッティング等により比較的混雑が想定される日時について、可能な限り事前の日程調整を提案・協議する。

② 自家用車の駐車場運用及び交通誘導のあり方について

[顕在化した課題]

- 1) 当日販売の駐車券を求め、駐車券を持たない自家用車が殺到した。
- 2) 自家用車による駐車場への到着が通勤時間帯に集中した。
- 3) 複数の駐車場に対し、誘導を1箇所ずつ実施したことから入庫に多くの時間を要した。
- 4) 駐車券を持たない来場者も多く、駐車券チェックに時間を要した。
- 5) 一部駐車場整理員の現地不慣れにより、案内等のやりとりに時間を要した。

[今後の留意事項]

- 1) 当日の駐車券販売は不特定多数の車両の集中を招く恐れがある。このため、主催者は原則として当日販売の駐車券はないことを十分広報～周知しながら事前販売を行うものとする。
- 2) 主催者は駐車場への到着時間を分散させる仕組み（駐車場別の料金設定や入出庫時間の設定、早めの来場者に対する催しや特典を準備、など）を検討のうえ実施する。
- 3) 主催者は指定管理者と相談のうえ、駐車券販売時に駐車場所の指定を行い、複数の駐車場へ同時に誘導する。なお、H駐車場については間口が広いいため、複数箇所からの入庫を検討する（H駐車場は暫定的に駐車場として利用しているため未舗装となっている。より駐車しやすい環境を創出するため、施設管理者においてトラロープによる駐車枠を設置するよう計画している）。
- 4) 駐車券を車両のフロントガラスに貼付してもらうなど、主催者は駐車券の確認時間を短縮するよう工夫する。また、駐車券を持たない来場者は駐車できない旨を経路上で早めに告知し、スポーツ公園内へ進入させないよう看板等の充実を図る。
- 5) 駐車券の有無が確認できない来場者とのやりとりにより渋滞を助長しないよう、主催者は、駐車場内に一旦入庫後確認を行うなど、車列から速やかに退避させる工夫を講じる。
- 6) 公園西インター入口交差点については、各方面から公園内駐車場に進入する車両が集中するため、特に右折需要を低減させる工夫が必要であることから、主催者は指定管理者や交通管理者とその誘導対策について事前に十分

な協議を行う。

- 7) 駐車場整理員に対し、事前に公園内の駐車場配置図や対応マニュアルを配布する、研修を行うなど、主催者は円滑な誘導體制を構築する。
- 8) 主催者は駐車場誘導等を含めた意思決定の仕組みを構築～整理し、連絡体制の徹底を図る。

ポイント

- 主催者はイベント当日の駐車券販売により不特定多数の車両が集中することを防止するため、原則として当日の駐車券販売を行わない。
- 主催者は駐車場への到着時間を分散させる仕組みを検討・実施する。
- 主催者は駐車場への円滑な誘導対策を検討し、指定管理者や交通管理者と事前に十分な協議を行う。

(参考)

総合競技場で開催予定の平成31年度大規模イベントとしては、Jリーグの大分トリニータホームゲームが予定されているが、デーゲームは16時、ナイターは19時試合開始となっていることから主に午後の集客・駐車場利用が見込まれる。一方、武道スポーツセンターでのイベントの多くは開会式が午前9時前後であり、午後にかけて来場者数は減少していくことが予想されている。

こうしたなか、施設管理者は、公園内の駐車場について、その位置情報や利用状況（満空情報）をリアルタイムでスマートフォンにより確認可能なシステムを平成31年度早々に導入することとしており、自家用車による駐車場の円滑な運用の一助として、両施設の利用者が当該システムを活用いただけるよう期待している（巻末参考資料参照）。

③ シャトルバス等の運用のあり方について

[顕在化した課題]

- 1) 秋の行楽シーズンは土曜の朝から観光ツアーが多く設定されており、運転手の休養時間も必要なことから、金曜の夜は特にバスの確保が厳しかった。
- 2) シャトルバスが渋滞ルートに巻き込まれた。
- 3) パーク&バスライドが実施されなかった。
- 4) バスチケットは当日販売となったことから、事前の需要予測が困難だった。

[今後の留意事項]

- 1) 主催者は可能な限りイベント計画の初期段階で大分県バス協会をはじめ関係機関と相談しながらシャトルバスの確保に向けた取組が必要である。
- 2) 主催者はシャトルバスの運行コースについても、大分県バス協会等関係機関のアドバイスを受けながら選定していくことが望まれる。
- 3) パーク&バスライドについても、有料シャトルバスの運行については、大分運輸支局と相談のうえ、その実施を検討する。
- 4) 事前のシャトルバスチケット販売についても、大分運輸支局と相談のうえ、その実施を検討する。
- 5) タクシーの運行については、定額運行や台数の確保など、大分県タクシー協会と協議しながらその利活用が図られるよう検討する。

ポイント

- 主催者は、イベント計画の初期段階で大分県バス協会等関係機関と相談しながら、シャトルバスの確保、運行コース等について相談を行う。
- 主催者は、パーク&バスライドについても、有料シャトルバスの運行については、大分運輸支局と相談のうえ、その実施を検討する。

④ 広報のあり方について

[顕在化した課題]

- 1) 今回はイベント実施の告知が不十分であり、渋滞対策に向けた有効な広報ができなかった。
- 2) 主催者への問い合わせに対し、応対時間外の対応ができなかった。

[今後の留意事項]

- 1) 主催者は、来場者へのアクセス方法周知をはじめ、交通総量抑制に向けた県民のご協力をいただくため、看板設置、HP、新聞、ラジオ等、様々な広報を、一定の周知期間に配慮したうえで、報道機関の協力もいただきながら充実させる。
- 2) 主催者はシャトルバス利用、早めの来場等、交通アクセスに係る主要事項について、チケットへの明記など周知に向けた工夫を徹底する。
- 3) 主催者は、問い合わせに対する対応を丁寧に行う体制を整備する。
- 4) 本会議構成各機関は、それぞれの立場で可能な範囲で、渋滞対策に資する広報を行うよう努めるものとする。なお、交通管理者及び道路管理者においては、有効な媒体となる既存の道路標識（電光掲示板）活用の可能性について検討を行う（H31.3.2のJリーグ大分トリニータホーム開幕戦から、道路上の電光掲示板を利用した広報を県警等が試行的に開始している）。

ポイント

- 渋滞の発生を未然に防止するためには、事前の告知・広報が極めて重要である。このため、主催者は、看板設置、HP、新聞、ラジオ等、様々な広報を、報道機関との連携も強化し、協力をいただきながら充実させる。
- 本会議構成各機関は、それぞれの立場で可能な範囲で、渋滞対策に資する広報を行うよう努めるものとする。

⑤ 天候不良や事故等発生時の対応、交通規制等について

[顕在化した課題]

- 1) 当日は16時頃から降雨発生に伴い、観戦客の送迎車両が増加するとともに、通勤通学の車両も相対的に増加し、交通総量が増加したものと考えられる。
- 2) 交通渋滞が顕著となるなか、高速道路のランプや一般道及び駐車場で交通事故（計4件）が発生している（なお、今回はいずれも軽微な追突事故であり、車列からの退避が速やかになされたことから、渋滞への影響はないと判断される）。

[今後の留意事項]

- 1) 主催者は天候不良に伴い自家用車利用が相対的に増加することによる渋滞の助長を可能な限り抑制するため、来場者のシャトルバス利用や交通総量抑制に向けた事前の広報を充実・強化する。
- 2) 大規模イベント開催時の交通事故等への対応を円滑に行うため、交通管理者及び各道路管理者は事前協議のうえ緊急時における連携強化を図る。
- 3) 主催者は公園近隣の商業施設や路上、私有地等への迷惑駐車を抑制するため、必要に応じて、駐車禁止警告看板の設置や警備員の配置を行うほか、県警の協力による巡回などの実施についても協議を行う。
- 4) 公園西交差点及び東交差点等の信号機の現示調整は県警が判断する。

ポイント

- 主催者は事前の広報を充実強化し、県民のご協力をいただきながら、（特に天候不良時の）交通総量増加を抑制するよう努める。

3 渋滞対策会議の今後の取扱い

(1) イベント主催者に対する相談窓口の設置

本会議については、今後、大分スポーツ公園でイベント実施を検討する主催者からの渋滞対策に関する相談・協議の窓口として、その組織を存置します。

なお、過去の実績を考慮して、概ね2万5千人程度を超える集客が予想されるイベントについては、渋滞対策会議を開催したうえで主催者への指導助言を行うほか、それ以下のイベントについても、以下のとおり相談・協議が進められるよう対応を行います。

(2) 相談・協議のスキーム及び役割分担

[イベント規模A：概ね2万5千人程度以上]

- ① 主催者から指定管理者へイベント実施の相談
 - ・ 指定管理者から主催者へ渋滞対策に関する留意事項を説明
 - ・ 主催者は説明を受けて対策を検討
- ② 指定管理者から施設管理者（大分県公園・生活排水課）へ情報共有
- ③ 施設管理者から本会議構成機関へ情報共有
- ④ 会議を招集し、主催者と渋滞対策を協議
- ⑤ 議論を踏まえ、主催者に対する指導助言を構成各機関が実施

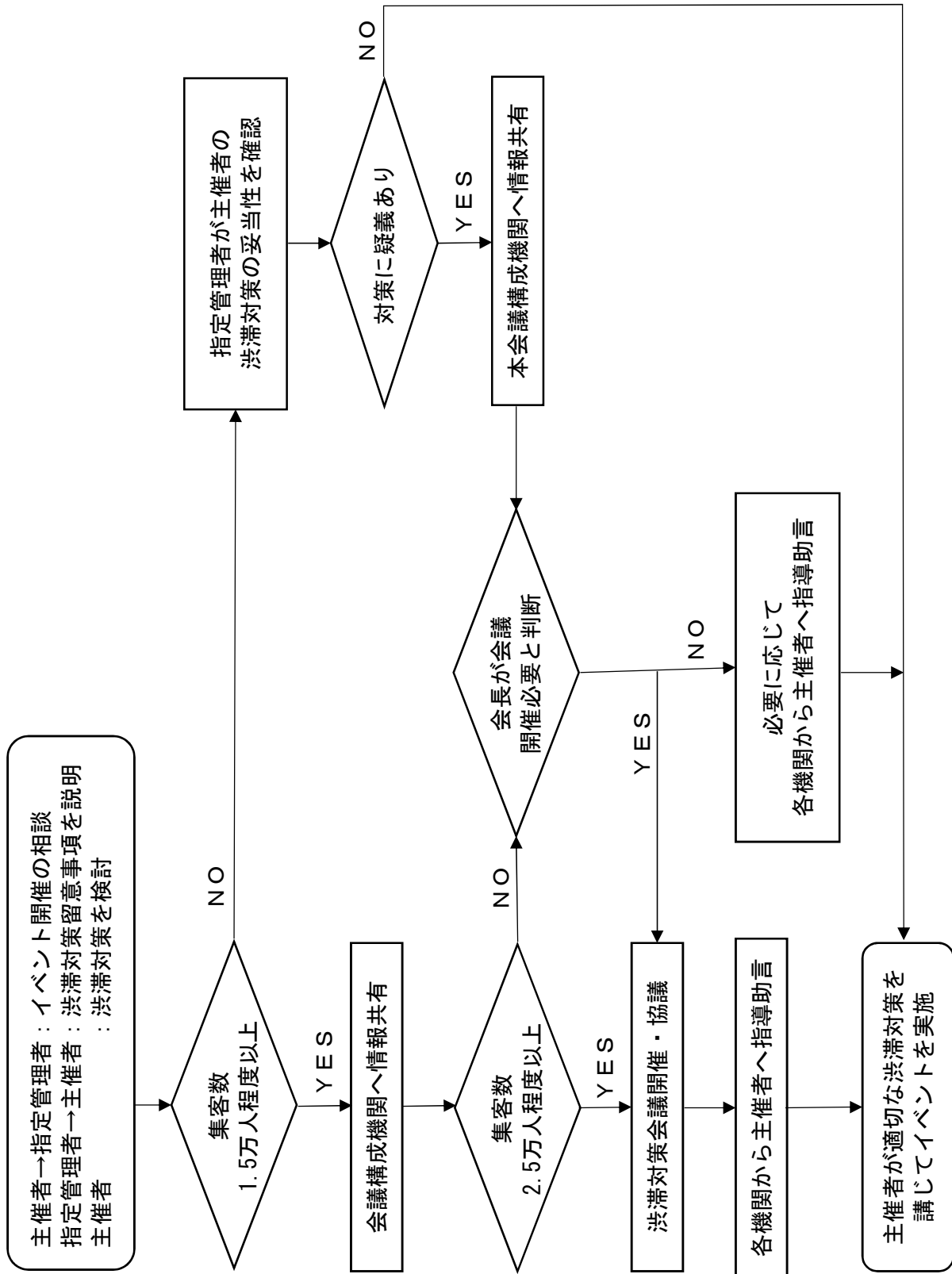
[イベント規模B：概ね1万5千人程度～2万5千人程度]

- ① 主催者から指定管理者へイベント実施の相談
 - ・ 指定管理者から主催者へ渋滞対策に関する留意事項を説明
 - ・ 主催者は説明を受けて対策を検討
- ② 指定管理者から施設管理者（大分県公園・生活排水課）へ情報共有
- ③ 施設管理者から本会議の構成関係機関へ情報共有
 - ・ 必要に応じて、会議の招集（会長が判断）
- ④ 必要に応じて、関係機関と指定管理者及び施設管理者が共同してイベント主催者へアドバイスを実施

[イベント規模C：概ね1万5千人程度以下]

- ① 主催者から指定管理者へイベント実施の相談
 - ・ 指定管理者から主催者へ渋滞対策に関する留意事項を説明
 - ・ 主催者は説明を受けて対策を検討
 - ・ 指定管理者は主催者が実施する渋滞対策の妥当性を確認
- ② 渋滞対策に疑義のある場合または主催者から渋滞対策に関する具体の相談があった場合
 - ・ 指定管理者から施設管理者（大分県公園・生活排水課）へ情報共有
 - ・ 施設管理者から本会議構成機関のうち関係する機関へ情報共有
 - ・ 必要に応じて、会議の招集（会長が判断）
 - ・ 必要に応じて、関係機関と指定管理者及び施設管理者が共同してイベント主催者へアドバイスを実施

渋滞対策 相談・協議のフロー



4 学識経験者の意見

大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策に関し、アドバイザーとして参画いただいた名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所中村俊之特任准教授から以下の助言をいただいています。

「昨年11月16日のサッカー日本代表戦の開催に伴う大分市内の大規模な渋滞による影響は、広く知られることとなり、これを踏まえ、渋滞対策会議の設置、議論を経て取り纏められた渋滞対策については、今後のイベント開催時における交通マネジメントに向けて、第一歩であり、今回多くの関係者が協同のもとに、検討が進んでいることに一定の評価ができると思います。

今後の検討にあたっては、例えば、周辺道路の渋滞原因となる駐車場選択時のうろつき交通の影響を抑制するため、今般導入された「大分スポーツ公園パーキングナビ」についてどのような場面で利用者が情報を入手し、行動選択をするのかを踏まえた情報入手から駐車場選択までのプロセスを考慮したソフト施策へと充実強化し有効活用していくことも検討に値すると考えます。また、飛行機の予約や一部Jリーグのチケット販売に見られるような仕組みを参考に、駐車場の場所と予約時期に応じて、料金をダイナミックに変更するなどIoTを活用した方策なども検討の余地があります。

さらに、曜日や時間帯、天候別の地域の移動特性を踏まえつつ、イベントを集客数の量による評価に加え、イベントの種別による集客エリアやアクセス道路、交通手段の特性といった質の面で捉えていくことも有意であり、こうしたデータの蓄積や活用なども考えられます。

今後は、関係者間で問題や意識を共有し、検討を進め、渋滞緩和・削減に向けて、それぞれの立場で可能な取り組みを継続することが何より重要です。冒頭に記載しましたように、本検討が渋滞対策にむけた第一歩となり、交通を巡る問題解決に寄与し、市内を効率的かつ環境負荷の少ない形で移動できるような交通体系の構築へと繋がることを期待しています。」

今後、助言も参考にしながら、渋滞対策の取り組みを進めていきます。

5 おわりに

今般、大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策について、関係各機関のご協力をいただきながら、以上のとおり基本的事項のとりまとめを行ったところです。

今後、まずは、今回の成果を活用しながら、民間のイベント主催者へソフト対策の情報提供や助言等を適時適切に行ってまいります。

なお、本文中でも記載のとおり、大分スポーツ公園では、平成31（2019）年度早々の大分県立武道スポーツセンター供用開始に合わせ、駐車場の利用状況をスマートフォンによりリアルタイムで確認できる「大分スポーツ公園パーキングナビ」（巻末参考資料参照）を導入することとしました。より多くの皆様にご利用いただければ幸いです。

大分スポーツ公園でのスムーズなイベント運営にあたって、まずは、主催者による積極的・計画的な渋滞対策立案～実施はもとより、報道機関の皆様のご理解ご協力をいただきながら、公園利用者や県民の皆様への渋滞対策の周知及び実行が重要となります。今後とも、多くの皆様のご理解ご協力をいただきながら、渋滞抑制に向けた取組を進めつつ、大分スポーツ公園の一層の利活用促進が図られるよう努めてまいります。

参 考 資 料

(1) 渋滞対策会議会則及び構成機関	・・・・・・・・・・	19
(2) 渋滞状況図 (H30.11.16)	・・・・・・・・・・	21
(3) 大分スポーツ公園位置図	・・・・・・・・・・	25
(4) 大分スポーツ公園周辺マップ	・・・・・・・・・・	26
(5) 「大分スポーツ公園パーキングナビ」の概要	・・・・・・・・・・	27

大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策会議 会則

(名称)

第1条 この会議は、大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策会議（以下、「本会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会議は、主として、民間主催のイベント実施に伴う渋滞発生への抑制に向け、講ずべき対策等について検討・整理を行うことを目的とし、もって主催者への指導助言等を適切に実施することにより、大分スポーツ公園の利活用を促進する。

(組織)

第3条 本会議は、別表に掲げる機関に属する者を構成員として組織する。
ただし、会長は、必要あると認めるときは、別表に掲げる機関以外の者を出席させることができるものとする。

(役員)

第4条 本会議に会長1名を置き、大分県土木建築部審議監（技術企画担当）をもって充てる。

(会議)

第5条 会議は、会長が招集し、議長となる。なお、会長が出席できない場合、議長は会長の指名を受けた者が代理する。

(事務局)

第6条 本会議の事務局は、大分県土木建築部公園・生活排水課に置く。

附則 本会則は平成30年12月18日から施行する。

(別表)

大分スポーツ公園の利用に伴う渋滞対策会議 構成機関

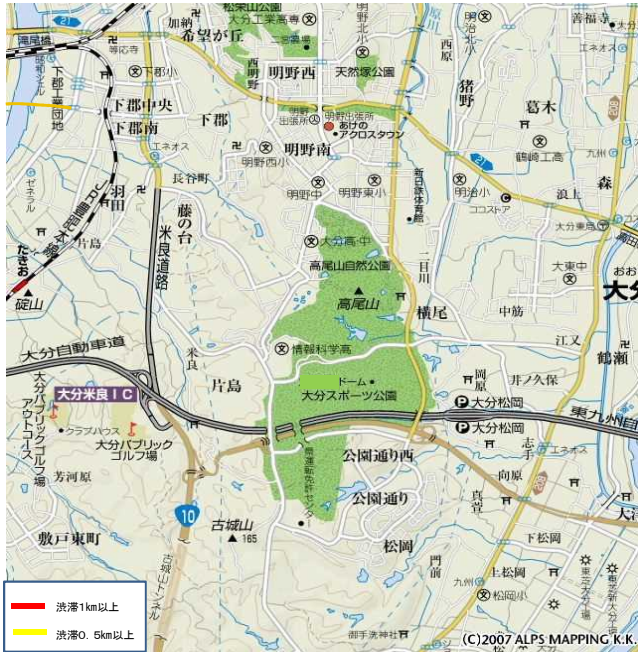
- ・ 大分県企画振興部芸術文化スポーツ振興課
- ・ 大分県企画振興部ラグビーワールドカップ2019推進課
- ・ 大分県企画振興部観光・地域局観光・地域振興課
- ・ 大分県企画振興部観光・地域局交通政策課
- ・ 大分県土木建築部道路建設課
- ・ 大分県土木建築部道路保全課
- ・ 大分県土木建築部公園・生活排水課（事務局）
- ・ 大分県教育庁体育保健課
- ・ 大分県教育庁屋内スポーツ施設建設推進室
- ・ 大分県警察本部生活安全部地域課
- ・ 大分県警察本部交通部交通規制課
- ・ 大分県警察本部警備部警備第二課
- ・ 大分東警察署
- ・ 一般社団法人大分県サッカー協会
- ・ 株式会社大分フットボールクラブ
- ・ 株式会社大宣（指定管理者）

(オブザーバー)

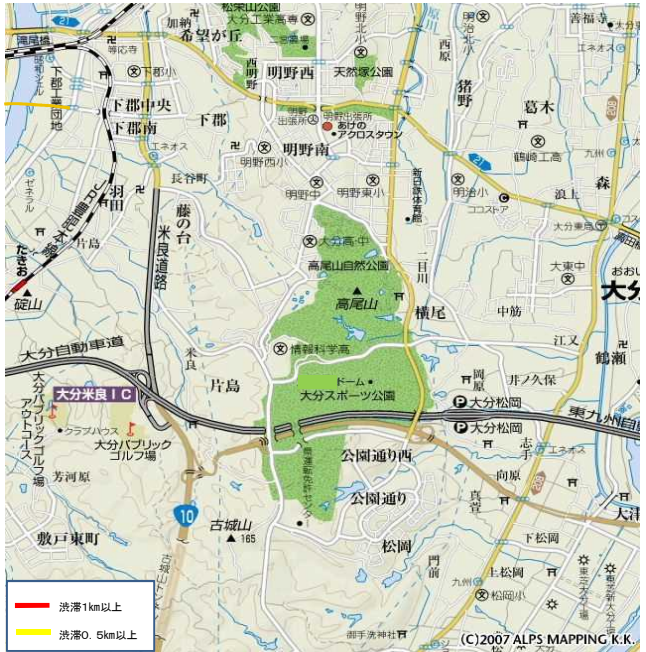
- ・ 国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
- ・ 国土交通省九州運輸局大分運輸支局
- ・ 大分市土木建築部土木管理課
- ・ 西日本高速道路株式会社（NEXCO西日本）大分高速道路事務所

H30.11.16「キリンチャレンジカップ日本代表戦」に伴う交通渋滞の状況(試合開始前)

14:00



14:30



15:00



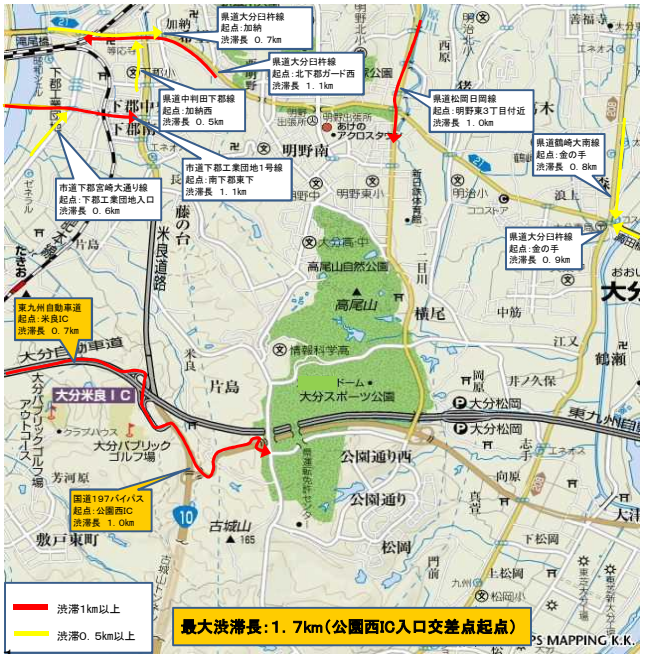
15:30



16:00 (降雨開始)



16:30 (開場)

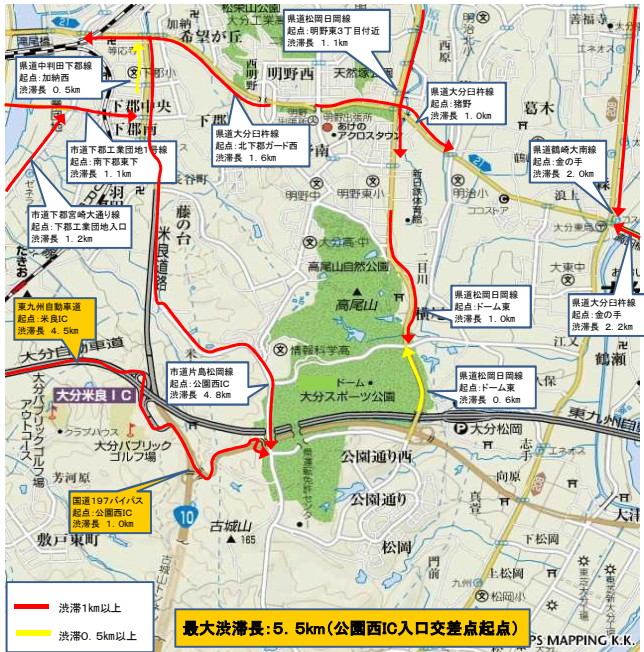


H30.11.16「キリンチャレンジカップ日本代表戦」に伴う交通渋滞の状況(試合開始前)

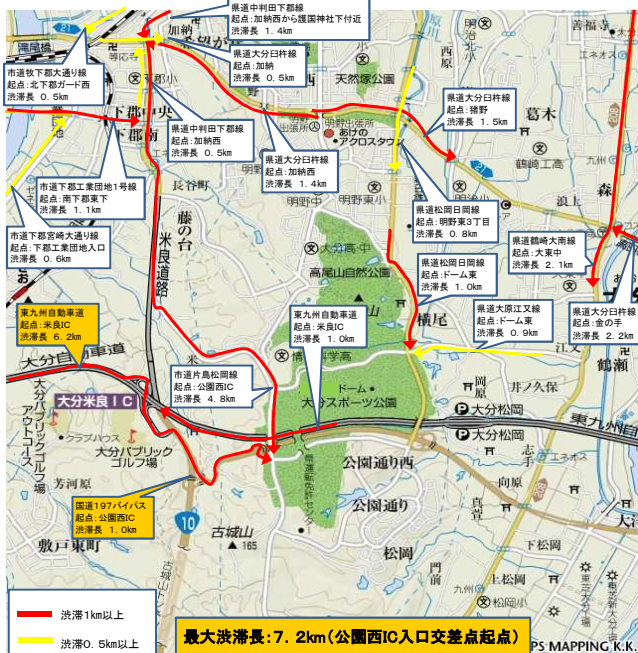
17:00



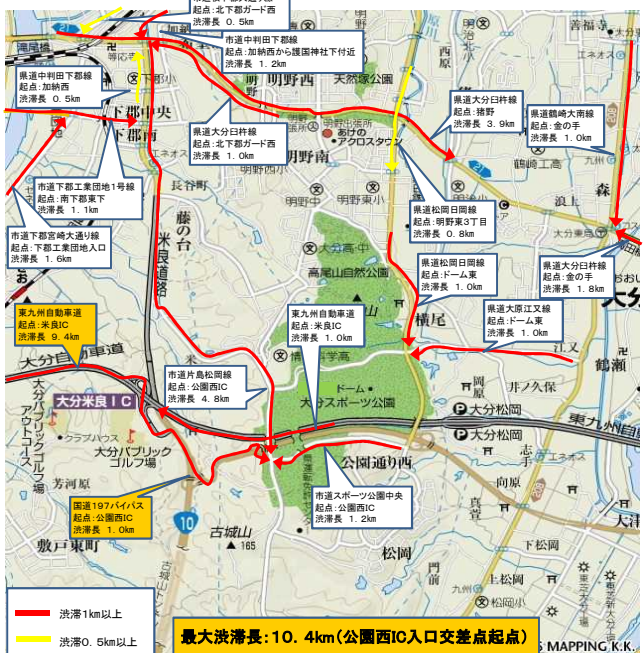
17:30



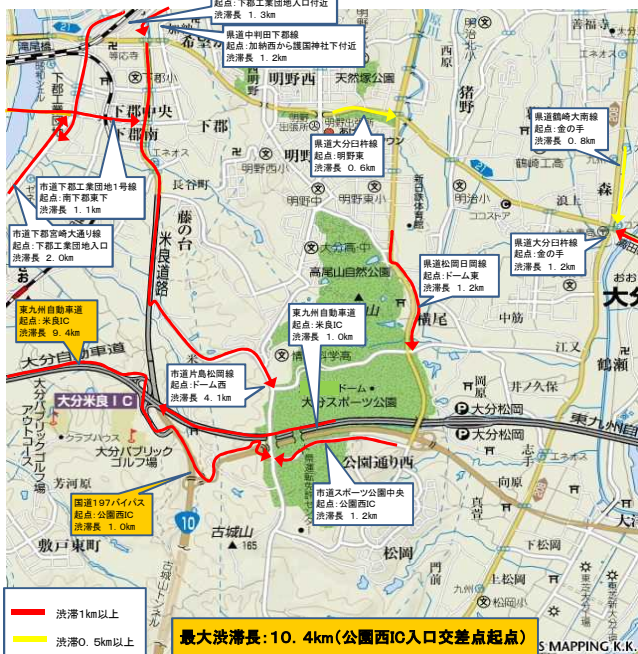
18:00



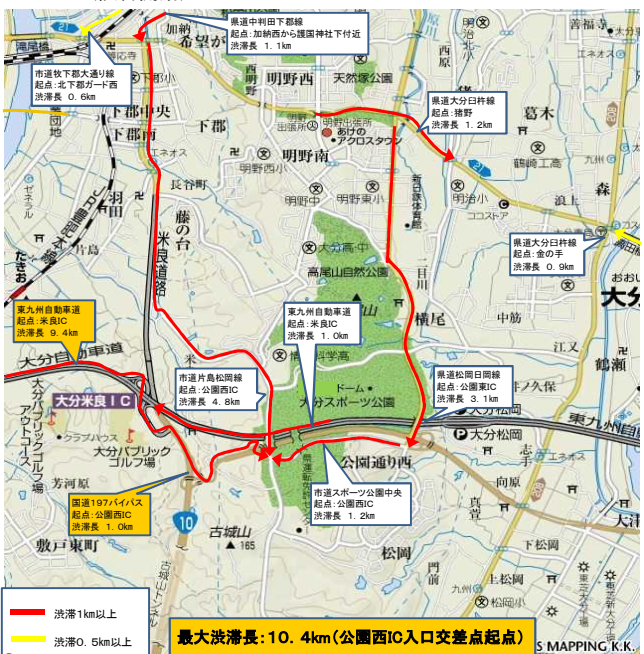
18:30



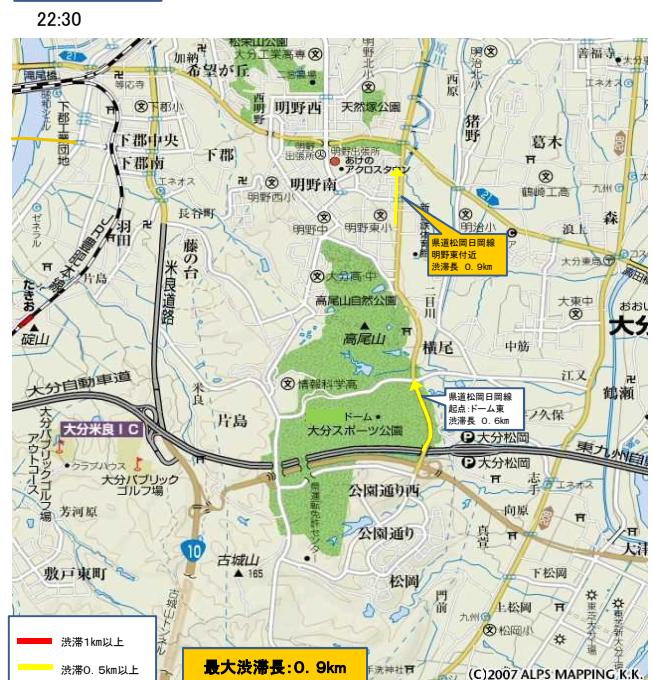
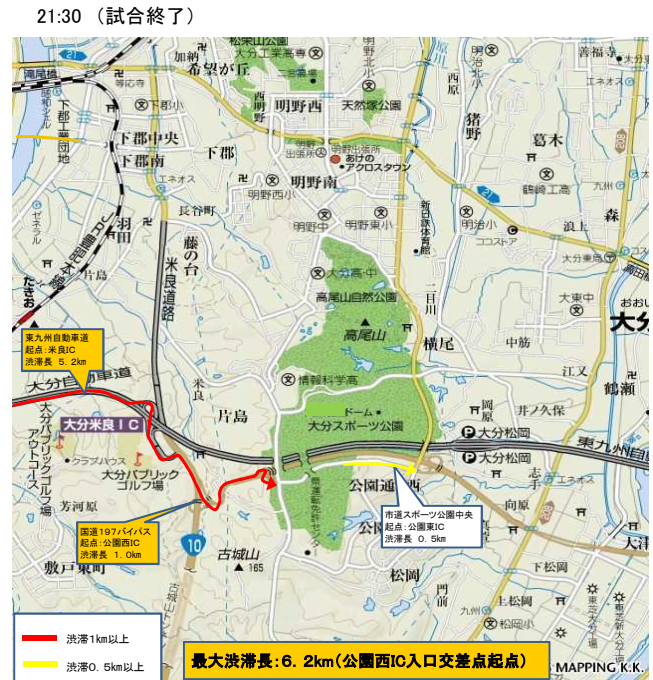
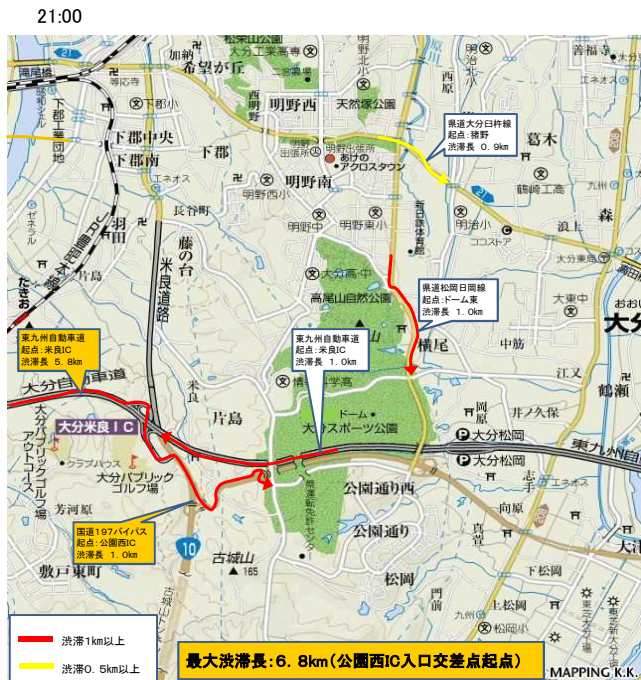
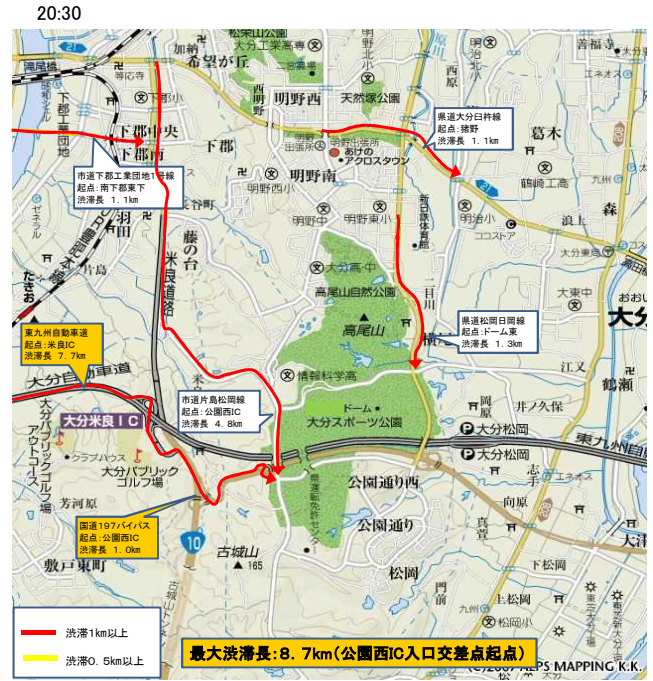
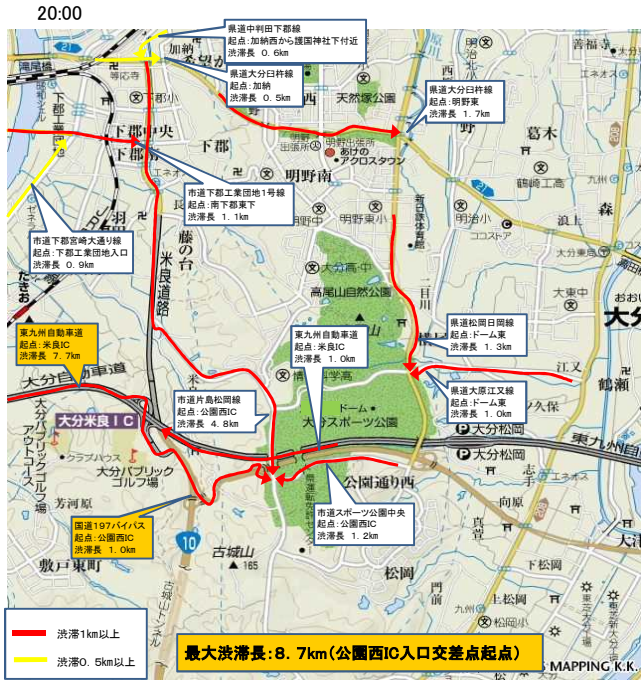
19:00



19:30 (試合開始)



H30.11.16「キリンチャレンジカップ日本代表戦」に伴う交通渋滞の状況(試合中～終了後)



H30.11.16「麒麟チャレンジカップ日本代表戦」に伴う交通渋滞の状況(試合終了後)

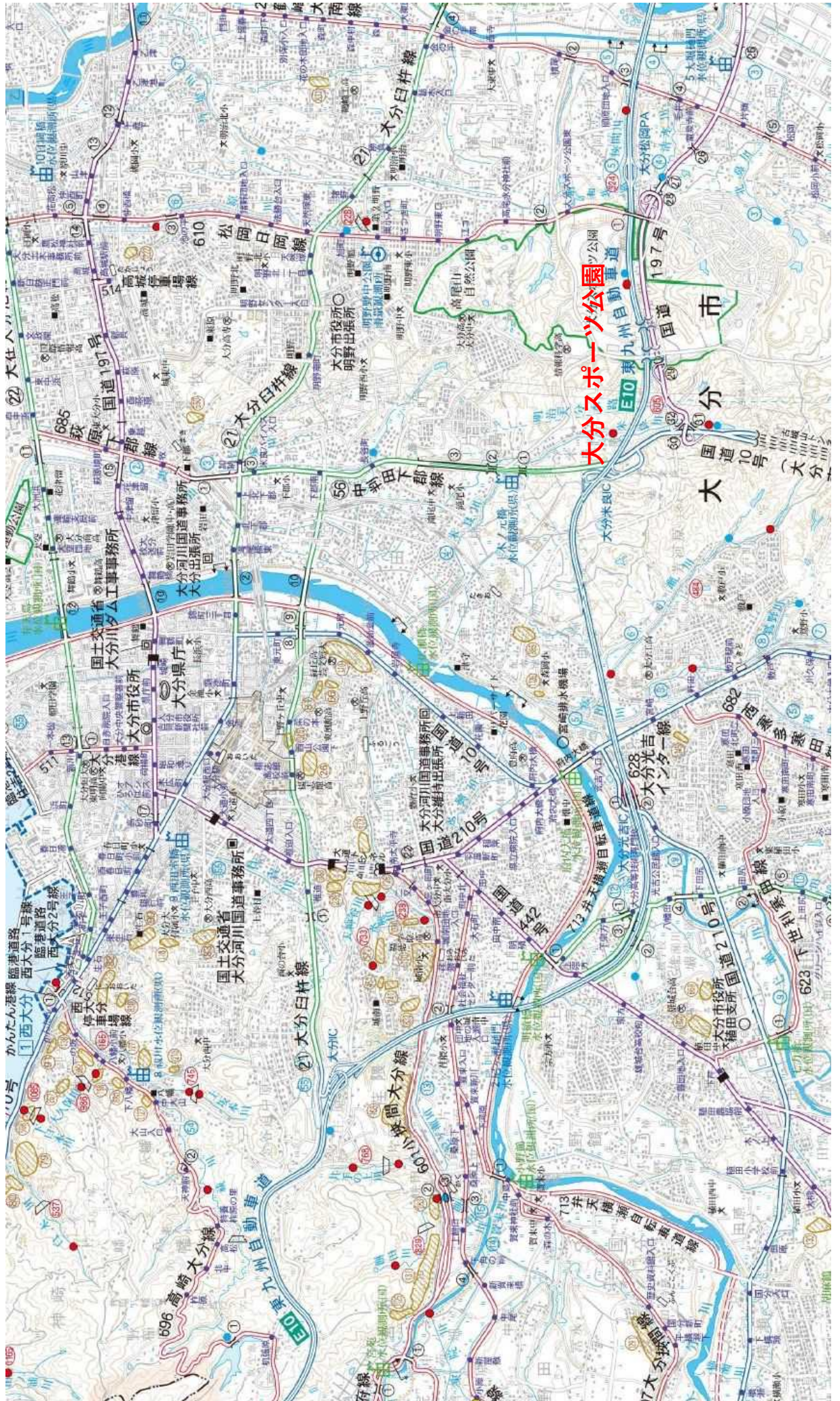
23:00



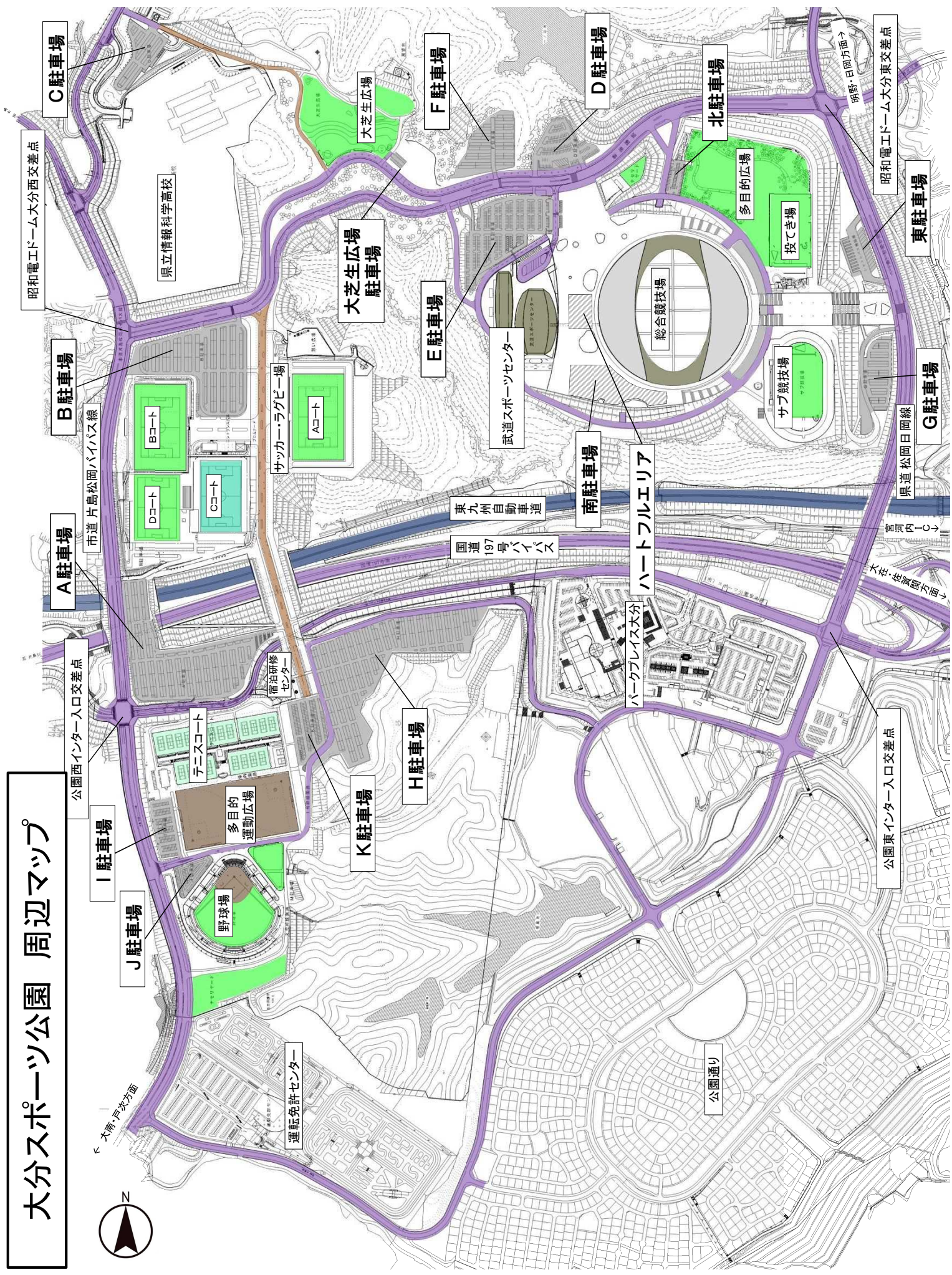
23:30



大分スポーツ公園 位置図



大分スポーツ公園 周辺マップ



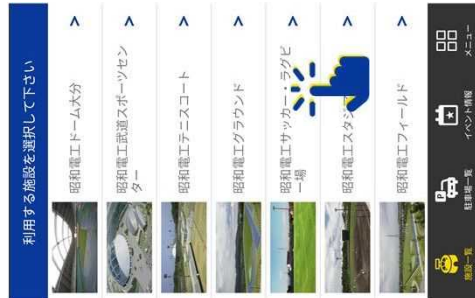
アプリの4つの特徴！

- ① 大分スポーツ公園駐車場※1の利用状況をリアルタイムで確認※2！
 - ② 行きたい駐車場に簡単ナビゲート！※3
 - ③ ナビゲート中でも、駐車状況の変化を音声でお知らせ！※4
 - ④ 大分スポーツ公園のイベント情報も確認！
- ※1…大分スポーツ公園の主要な駐車場 (A,B,E,F,H)の情報を提供します。
 ※2…本アプリはデータ通信により、リアルタイムで駐車場情報を表示します。
 ※3…iPhone標準マップアプリまたは、Googleマップアプリが必要です。
 ※4…ルート案内中に音声にて通知されます。

案内開始まで簡単3ステップ！

ステップ1

行きたい場所を選ぶ！



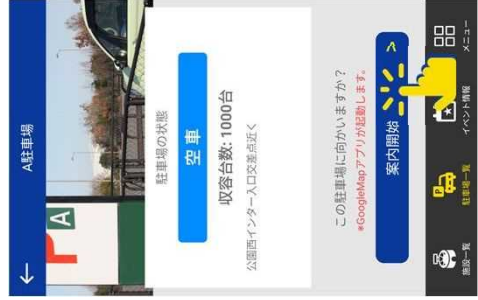
ステップ2

満空状態を参考に駐車場を選ぶ！



ステップ3

駐車場の入口を確認して、案内開始！



※ 駐車場一覧画面から案内も可能！

イベントはリストで確認！
通知予約は個別に可能！



駐車状況の変化を音声でお知らせ！



アプリの入手(ダウンロード)方法

2019年

4月26日からダウンロード可能！



大分県 (大分県ホームページから)

<http://www.pref.oita.jp>

※ 「公園」で検索！

iPhone版 Android版

無料でダウンロード！